

宮城県林業普及活動情報

2025. 6月号 No. 205

もくじ

各地の林業普及活動情報

P 2～8

- 林相転換事業打合せ (大河原地方振興事務所)
- 大河原産業高等学校環境科学科 3 年生の実習に関する打合せ (大河原地方振興事務所)
- 森林経営管理制度伴走支援市町村選定のためのヒアリング (大河原地方振興事務所)
- 松くい虫被害の拡大防止に向けた地上散布及び空中散布(特別防除)の実施 (仙台地方振興事務所)
- みやぎ食材伝導士研修の開催 (仙台地方振興事務所)
- 国産材利用拡大に向けた個別指導 (仙台地方振興事務所)
- ミズキ林所有者への立木売買契約説明 (北部地方振興事務所)
- 巣植え試験地現況確認 (北部地方振興事務所)
- 管内苔生産者に対する栽培指導 (北部地方振興事務所栗原地域事務所)
- 「森林病虫害等防除事業(特別防除)」現地立会 (東部地方振興事務所)
- 「伴走型市町村支援選定に係るヒアリング」立会 (東部地方振興事務所)
- 「森林組合オフサイトミーティング」の支援 (東部地方振興事務所登米地域事務所)
- 松くい虫の防除のための薬剤散布(地上) (気仙沼地方振興事務所)
- みやぎ海岸林再生みんなの森林づくり活動に伴う企業による海岸防災林保育活動支援 (気仙沼地方振興事務所)
- 学校法人尚絅学院大学の里山再生プロジェクトに支援 (林業技術総合センター)

林相転換事業打合せ

大河原地方振興事務所

【12日(木)・18日(水)・19日(木)・26日(木)】

森林育成事業の中の林相転換事業について、町有林を持つ2町と、森林組合3組合に事業の詳細な説明を行い、該当箇所がないか打合せを行いました。その結果、2町では、町有林で今年度または来年度実施できる箇所があるか検討してもらうことになり、3組合でも該当箇所があれば検討してもらうことになりました。



【打合せの様子】

大河原産業高等学校環境科学科3年生の実習に関する打合せ

大河原地方振興事務所

【17日(火)】

7月に実施予定の大河原産業高等学校環境科学科3年生を対象とした実習について、見学を予定している早生樹植栽地や針広混交林を所有する事業体と実施に向けた打合せを行いました。事業体からは実習の受け入れを快く了承いただきました。また、当日見学を行う現場確認を行い、当日の動きや事前の環境整備の必要性について確認を行いました。

同日に行う木質バイオマスボイラーの見学について、機器を保有する七ヶ宿町に対し実習の概要説明を行いました。七ヶ宿町からも見学の受け入れを了承していただき、今後実施に向けた調整を行っていくこととしました。



【早生樹植栽現場での打合せ】

森林経営管理制度伴走支援市町村選定のためのヒアリング

大河原地方振興事務所

【24日(火)】

森林経営管理制度伴走支援を希望する市町村の要望を取ったところ、当管内では蔵王町から要望がありましたので、関係機関と連携して、現状と課題のヒアリングを行いました。

今後、ヒアリング結果を踏まえ、関係機関と連携を図りながら継続して指導助言を行っていきます。



【ヒアリングの様子】

松くい虫被害の拡大防止に向けた地上散布及び空中散布(特別防除)の実施

仙台地方振興事務所

【地上散布：5日(木)・6日(金)】

【空中散布：13日(金)】

特別名勝松島地域や県が所管する重要な松林において、松くい虫被害の拡大を防止するため、薬剤の地上散布及びヘリコプターによる空中散布(特別防除)を実施しました。

散布に当たっては、町の広報誌等により周辺住民への周知を図るとともに、空中散布時の送電線との接触事故防止のため、東北電力ネットワーク(株)とヘリパイロットが安全チェックを行い飛行安全の確保に努め、散布を実施することができました。

仙台管内では地上散布及び空中散布を合わせて約100haの松林で薬剤散布を実施しており、今後も特別名勝松島など重要な松林の保全に努めてまいります。



【動力噴霧機による地上散布】



【ヘリコプターによる空中散布】

みやぎ食材伝導士研修の開催

仙台地方振興事務所

【26日(木)】

仙台市泉区で原木しいたけの生産を行っている熊谷農園において、県内の飲食店経営者や料理人の方々を対象とした、標記研修が開催されたことから、事務局の一員として参加しました。

参加した研修生は、原木しいたけ生産者がほだ木の本伏せ作業などに非常に熱心に取り組む様子から、生産意欲への理解を深めることができました。また、「料理人として、生産の大変さや生産者の想いを消費者に伝える役目をしていきたい。」という旨の意見もいただくことができ、県内原木しいたけ生産への理解向上にも寄与するものと期待されます。

今後も、このような認知向上を図るなどし、原木しいたけ生産の更なる振興に向けた支援を続けていきます。



【作業の説明の様子】

国産材利用拡大に向けた個別指導

仙台地方振興事務所

【27日(金)】

国産広葉樹の利用拡大を目的として、モルダを導入予定の会社に対して、補助事業の概要を説明するとともに、広葉樹材の供給先や販路等について聞き取りを行いました。

木材加工流通施設整備関係の補助事業について理解を得られました。また、国産広葉樹の取扱量を増やすことは、更なる国産材の利用拡大に繋がることから、引き続き必要な普及指導を行います。



【聞き取りの様子】

ミズキ林所有者への立木売買契約説明

北部地方振興事務所

【16日(月)】

こけしに使用されるミズキ材の確保については、昨年度から引き続き継続していますが、今回、個人所有の山林においてミズキの群生地があり、数年後に利用価値があると判明したため、自宅に赴き事情を説明して伐採及び売買契約が可能か問い合わせたところ、趣旨に理解いただき了承いただきました。伐採までに期間が空くことから、時期について鳴子木地玩具協同組合と検討していきます。



【概要説明】

巢植え試験地現況確認

北部地方振興事務所

【27日(金)】

1.2mの植栽間隔で正三角形に3本ずつ植栽したスギの巢植え（平成26年植栽）は、低コストで成林させるための育林技術です。この試験地では、令和4年に除伐を実施し、必要最小限の保育管理をしている状況にあります。今回、3年ぶりに森林所有者と合同で現地状況を確認しました。今後は、ドローンによる空撮結果を踏まえ、保育間伐の必要性について検討していきます。



【森林所有者と打合せ】

管内苔生産者に対する栽培指導

北部地方振興事務所栗原地域事務所

【22日(日)】

当所では、苔の産地化を目指している「くりはらの苔」の魅力を発信し、苔の美しさ・たくましさを意識する空間の提供と苔文化の定着を目指し活動を実施しています。

今回、文字苔っこの会が活動拠点である「愛藍人・文字」でスナゴケの種まき作業を実施することから、栽培指導を行いました。

当日は30度を超える猛暑であったことから、こまめな水分補給と休憩をとるよう指導を行い、事故なく約400ケース分の種まき作業を行うことができました。

今回種まきを実施したスナゴケは1年半程度栽培後に出荷されるため、今後も継続的に栽培指導を実施し、「くりはらの苔」の産地化及び聖地化を推進していきます。



【熱中症に注意し、効率よく作業を実施】

「森林病虫害等防除事業（特別防除）」 現地立会

東部地方振興事務所

【9日(月)、10日(火)、12日(木)】

管内市町の沿岸景勝地及び離島で毎年実施されている、松くい虫防除のための特別防除（ヘリコプターによる薬剤空中散布）について、事業発注者である森林整備課や市町、受託者と連携しながら、事業の円滑な実施のため、指導を行いました。

今年度は、松くい虫被害対策のため、散布区域を拡大しましたが、当日は無事予定した散布作業を終了することができました。

引き続き、松くい虫被害の減少に向け、漁協関係者への周知や地元説明会を行いながら、市町や関係機関と連携し、各事業に取り組んでいきます。



【散布前日の打合せ】



【薬剤空中散布】

「伴走型市町村支援選定に係るヒアリング」立会

東部地方振興事務所

【23日(月)】

女川町から、令和7年度森林経営管理制度伴走支援の希望があったため、林業振興課と市町村森林経営管理サポートセンターが実施する、市町村選定に係るヒアリングに立ち会い、町に対して、これまでの取組状況や森林経営管理制度を進める上での課題等のヒアリングを実施しました。

ヒアリング結果を踏まえ、今後も町の取組みに対して、関係機関と連携を図りながら指導助言を行っていきます。

なお、要望のあった全ての市町村を支援対象とする旨、林業振興課から説明がありました。



【ヒアリングの様子】

「森林組合オフサイトミーティング」の支援

東部地方振興事務所登米地域事務所

【4日(水)、11日(水)、18日(水)、25日(水)】

令和6年5月から広域合併を目指して協議を進めている登米市内の森林組合(登米町森林組合、東和町森林組合、津山町森林組合)の機運醸成を図るため、組合職員全員参加のオフサイトミーティングを継続的に開催しています。

当所は、進行役(座長)として会議の円滑な運営を支援し、6月は「新組合の名称」や「事務所の位置」について話し合いました。



【森林組合オフサイトミーティング】

松くい虫の防除のための薬剤散布(地上)

気仙沼地方振興事務所

【19日(木)】

南三陸町が実施主体となり、保全すべき松林を対象に、松くい虫の防除のための薬剤散布(地上散布)を、神割崎で有名な「神割崎キャンプ場」で実施しました。

当日は、晴天に恵まれ、風もほぼ無風状態で非常に散布日和であり、キャンプ場及び来場者の御協力もあり、無事に散布することができました。

なお、散布方法としては、地上からホースを伸ばし人力による散布と、スパウターという動力噴霧器による散布を組み合わせることで薬剤



【スパウターによる散布状況】

散布を行っており、散布薬剤は、野菜などにも使用されている農薬登録された農薬を使用しています。

当日は、薬剤散布に立会し、薬剤の危被害発生対策や、薬剤が松の頂上部まで届いているか等を確認し、適切に実施されていることが確認できました。

今後も松くい虫被害の拡大防止のため、保全すべきマツ林を中心に、適切な防除が行われるように、県、市町及び地域住民と連携して参ります。



【人力による散布状況】

みやぎ海岸林再生みんなの森林づくり活動に伴う企業による海岸防災林保育活動支援

気仙沼地方振興事務所

【20日（金）】

東日本大震災後に、復旧された海岸防災林について、県と企業等が協定を締結し、保育管理を行う「みやぎ海岸林再生みんなの森林づくり活動」に基づき、ピクテ・ジャパン（株）が、気仙沼市田中浜で展開している保育活動の支援を行いました。

当日は、植栽されたクロマツの下刈作業を実施し、参加者は汗だくになりながら、「未来につなぐ、みんなの森林づくり」に繋がる活動として、海岸林の再生に対する社会意識の醸成とともに参加者が自ら楽しみながら作業をしていただきました。また、現地には、地域のゆるキャラが勢揃いした顔はめパネルの設置も行い、子どもから大人まで「we♥ forest」を合い言葉に沢山の参加者にハマって頂きました。

今後も海岸防災林の確実な成林に向けて支援を行って参ります。



【参加者集合写真】



【ご当地ゆるキャラ顔はめパネル】

学校法人尚綱学院大学の里山再生プロジェクトに支援

林業技術総合センター

【14日(土)】

大学の要請を得て標記プロジェクト活動を支援しました。

尚綱の森にツキノワグマが出没したとのことで、今回は、森に入らない活動をする事となり、2班に分かれて下刈と小屋の壁塗りをすることとなったので、一日の長がある下刈を支援しました。

なお、ツキノワグマを恐れて森に入らなくなると、森で人獣棲み分けができなくなるので、しっかりと安全対策をした上で、里山活動を推し進め、棲み分けを定着させるよう提案しました。

次回の開催は、7月12日(土)です。



【朝の安全ミーティングの様子】